

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 現代日本	日本の社会	狩野 俊郎	2 年次	春

授業のキーワード	現在の環境問題の理解と ECO LIFE デザインづくり
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	環境問題は様々な事象によって構成されている。授業では、それらの事象の問題点を具体的に理解し、次に、現代社会を構成する個人、会社、地域社会、国等が環境問題にどう取り組んでいるかを理解する。更に、環境に関する課題の克服は、現代社会の優位性の確立につながることから、日本社会を構成する私たちが環境問題にどう取り組んだらよいかの道筋を示します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	環境問題に関する基本的知識の修得が可能であり、最終的に環境社会検定試験も視野に入れています。

授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	講義の進め方 とねらい 生活と環境問題	生活と身近な環境テーマについて	第 9 講	環境問題への 取り組み III	企業の取り組み (CSR・ISO・ 環境報告書等・環境会計・環境 教育等)
第 2 講	現代社会にお ける環境問題 の位置付け	少子高齢化等	第 10 講	環境問題への 取り組み IV	わが国の地球温暖化対策 (グリー ン購入・LCA・環境ラベル・ 製品の環境配慮設計等)
第 3 講	地球環境問題 I	持続可能な社会への取り組み (大気・海・川・土壌・森林・ 生態系等)	第 11 講	環境と暮ら し I	安全・安心の食ルール 環境配慮の住まい方 環境問題の町づくり
第 4 講	地球環境問題 II	持続可能な社会への取り組み (公害・大気汚染・水質汚濁・ 土壌汚染等)	第 12 講	環境と暮ら し II	安全な水の確保と生活排水の工 夫 ごみを出さない暮らし・3R 等 生産者と企業の責任
第 5 講	地球環境問題 III	持続可能な社会への取り組み (ヒートアイランド現象・二酸化 炭素・フロンとオゾン層等)	第 13 講	環境と暮ら し III	工場見学
第 6 講	地球環境問題 と私たちの役割	自然環境保全に向けた私たちの 取り組むべき課題	第 14 講	現代社会の 諸課題 (補 足)	地方分権
第 7 講	環境問題への 取り組み I	国の対策・対応 (法律の制定等)	第 15 講	定期試験	
第 8 講	環境問題への 取り組み II	県・市町村の対策・対応 (条例 の制定等)	評 価 方 法		出席および定期試験の結果等 により判定する。
備 考 (関連する資格・試験等)	①幅広い環境問題を私たちの生活との関連性に重点を置いて授業を進めます。 ②環境問題の基本的知識が修得できます。 ③関連する試験として環境社会検定試験 (eco 検定) があります。				
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
環境省『平成22年版 図で見る環境白書』 東京商工会議所編『eco 検定公式テキスト』			環境省『平成22年版 環境白書』 明日香壽川『地球温暖化』岩波ブックレット 鷺谷いづみ『<生物多様性>入門』岩波ブックレット 森田用弘『環境とつきあう50話』岩波ジュニア新書		